別紙

I. 事業評価総括表 (令和5年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名 又は間接交付金事業者名	交付金事業 に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	周東図書館屋根の防水改修 事業	岩国市	12,537,800	8,000,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表 (令和5年度)

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	周東図書館屋根の防水改修事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岩国市					
交付金事業実施場所		岩国市周東町下久原					
交付金事業の概要		<p>周東図書館屋根の防水改修事業</p> <p>本図書館は岩国市周東町高森地区の中心部に位置し、昭和35年4月の開設以来、多くの市民に利用され親しまれている。現施設は、昭和57年7月の新築開館から40年が経過し、経年劣化による老朽化が進んでいる。特に近年では施設のいたるところで雨漏りが発生しており、令和4年度には特に雨漏りの激しかった書庫部分については改修を実施したものの、開架室等市民が利用する箇所においても雨漏りが発生していることから、今回、本事業により残された箇所の屋上防水改修工事を実施することにより、利用環境の改善を図るとともに安全な図書館運営を実現するものである。</p>					
交付金事業に関係する市町の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策：第3次岩国市総合計画前期基本計画（令和5年度～令和9年度）</p> <p>基本目標5 豊かな心を育む教育文化のまち</p> <p>施策目標5-3 誰もが生涯学習・スポーツに親しめる環境が整備されている</p> <p>施策 5-3-1 生涯学習の推進 (1) 生涯学習施設の整備・充実</p> <p>目標：生涯にわたり学び、教養を持ち続け、心豊かな暮らしを実現するために、社会情勢やニーズ等に応じた生涯学習施設の整備・充実や図書館における利用サービスの向上等に取り組みます。</p>					
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度			
事業期間の設定理由		令和6年度					
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度		
		利用者満足度80% (周東図書館屋根の防水改修工事を行うことにより、利用者環境の改善を図り、安全な図書館運営を実現する)	(図書館の改修を満足と回答した人/アンケート回答者) × 100	成果実績	%	100	
				目標値	%	80	
				達成度	%	125	
		評価年度の設定理由					
		防水改修工事の効果を把握するため、令和6年度（第1四半期）に周東図書館利用者へアンケート調査を実施する。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標	単位	令和5年度	年度	年度	
		周東図書館屋根の防水改修工事	活動実績	式	1		
			活動見込	式	1		
			達成度	%	100		

交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考
総事業費	12,537,800			
交付金充当額	8,000,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	8,000,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方		契約金額
周東図書館屋根の防水改修事業	指名競争入札	藤田興産 株式会社		12,537,800
計				
交付金事業の担当課室	岩国市教育委員会中央図書館			
交付金事業の評価課室	岩国市教育委員会中央図書館			

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する市町の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町の上位政策・施策とその目標を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する市町の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果目標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて記載すること。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄は、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。